

## 令和2年度（第54回）

# 熊本県中学校社会科教育研究大会上益城・阿蘇大会について

上益城教育研究会中学校社会科部会

会長 堅島 尚記

阿蘇教育研究会中学校社会科研究会

会長 村田 和人

新型コロナウイルス感染症の流行により開催が心配された本大会ですが、開催校や県事務局のご支援のもと様々な工夫を取り入れ実施する運びとなりました。ただ、感染防止には最大限の配慮するために、例年と大きく違う大会となります。3密を避けるため、短時間で終わることができるように全体会や記念講演等はなくし、午後半日のみとしました。また、開会行事は各会場校に配信された映像を視聴、地理と歴史の授業も授業の教室には入ることなく、別会場でモニターを通しての授業参観となります。ウィズコロナの時代に行う新しい研究会の在り方の一提案となればと考えております。

## 授業内容と見どころについて

### <地理的分野>

単元名：「身近な地域の調査」 授業者：益城町立益城中学校 志水英介 教諭（2年4組）

「身近な地域の調査」を通して「益城町に求められる交通網」を追究していきます。特に町内循環バスに焦点を当て、様々な視点から意見交換することを通して、考えを深めていきます。GTからは生徒の意見を踏まえて話をしてもらうことで、生徒が地域社会へ参画しようとする意欲を高めます。生徒が地域に暮らす一人として、様々な意見に触れ益城町の将来について多面的・多角的に考察します。

### <歴史的分野>

単元名：「明治維新」 授業者：嘉島町立嘉島中学校 中村俊介 教諭（2年3組）

欧米の近代革命から「主権」「人権保障」「議会の在り方」の3つの観点から、近代国家の在り方を追究してきました。江戸時代の封建社会の崩れから近代国家を形成していく明治維新の国づくりについて「政府」と「国民」の立場から追究します。本時では、大日本帝国憲法が近代国家を目指す上で適切な内容だったのかを歴史的背景に目を向けながら考察します。

### <公民的分野>

単元名：「消費生活と市場経済」 授業者：西原村立西原中学校 伊藤文徳 教諭（3年1組）

新型コロナウイルス感染症の拡大が経済にどのような影響を与えたのか、具体的な事例を通して、需要量と供給量、価格が変化した理由を追及していく活動を行います。さまざまな資料をもとに、需要量と供給量の関係から決まる価格と市場メカニズムの仕組みについて、身近な生活の中から、需要量と供給量、生産者・消費者の視点、効率と公正に着目し、多面的・多角的に考察します。